



平成26年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月10日

上場取引所 東

上場会社名 イハラケミカル工業株式会社  
コード番号 4989 URL <http://www.iharachem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 望月 信彦  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 丸山 春樹

TEL 03-3822-5223

四半期報告書提出予定日 平成26年6月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第2四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第2四半期	18,373	25.9	2,168	47.2	2,521	22.0	1,602	23.5
25年10月期第2四半期	14,592	4.4	1,472	△17.2	2,066	2.2	1,297	9.2

(注)包括利益 26年10月期第2四半期 2,003百万円 (42.4%) 25年10月期第2四半期 3,481百万円 (106.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第2四半期	35.58	—
25年10月期第2四半期	28.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第2四半期	53,217	71.4	41,464	71.4	—	—
25年10月期	50,928	70.9	39,496	70.9	—	—

(参考)自己資本 26年10月期第2四半期 38,005百万円 25年10月期 36,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	—	—	5.00	5.00
26年10月期	—	—	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	18.7	3,000	41.6	3,500	22.6	2,000	13.4	44.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料P3「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年10月期2Q	51,849,917 株	25年10月期	51,849,917 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

26年10月期2Q	6,599,151 株	25年10月期	6,885,956 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年10月期2Q	45,045,232 株	25年10月期2Q	44,989,308 株
-----------	--------------	-----------	--------------

(注)26年10月期第2四半期の自己株式数には持株会信託の保有する当社株式数142,800株を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	・ ・ ・ ・ ・	P2
(1) 経営成績に関する説明	・ ・ ・ ・ ・	P2
(2) 財政状態に関する説明	・ ・ ・ ・ ・	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	・ ・ ・ ・ ・	P4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	・ ・ ・ ・ ・	P4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	・ ・ ・ ・ ・	P4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	・ ・ ・ ・ ・	P4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	・ ・ ・ ・ ・	P4
(4) 追加情報	・ ・ ・ ・ ・	P4
3. 四半期連結財務諸表	・ ・ ・ ・ ・	P6
(1) 四半期連結貸借対照表	・ ・ ・ ・ ・	P6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	・ ・ ・ ・ ・	P8
四半期連結損益計算書		
第2四半期連結累計期間	・ ・ ・ ・ ・	P8
四半期連結包括利益計算書		
第2四半期連結累計期間	・ ・ ・ ・ ・	P9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	・ ・ ・ ・ ・	P10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	・ ・ ・ ・ ・	P10
(継続企業の前提に関する注記)	・ ・ ・ ・ ・	P12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	・ ・ ・ ・ ・	P12
(セグメント情報等)	・ ・ ・ ・ ・	P13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国・資源国の経済動向や米国経済の回復ペースが懸念されるなか、先進国を中心に回復基調となり、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられておりますが、基調的には緩やかな回復を続けております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、中期的視点に立った販売予測を十分に反映した調達・投資の最適化や、調達・生産面での継続的な原材料費削減努力により、既存製品はもとより、本格販売を開始した新製品の採算性を強く意識した取り組みを実施するとともに、第50期事業年度の節目を迎える今期は、事業領域の拡大を基盤とした事業推進により、顧客価値実現に向けた能動的な取り組みの推進強化に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は183億7千3百万円（前年同四半期比37億8千1百万円増）、営業利益は21億6千8百万円（前年同四半期比6億9千5百万円増）、経常利益は25億2千1百万円（前年同四半期比4億5千5百万円増）、四半期純利益は16億2百万円（前年同四半期比3億4百万円増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### <農薬事業>

除草剤、殺菌剤、その他、農薬原料を主とした農薬事業につきましては、国内向けは堅調に推移し、海外向けは既存剤の水稲用除草剤、綿花用除草剤、新剤の畑作用除草剤の増加により、当事業の売上高は117億6千5百万円（前年同四半期比26.6%増）、セグメント利益は21億7千7百万円（前年同四半期比54.0%増）となりました。

#### <化成品事業>

トルエン・キシレン系化学品、精密化学品、産業薬品を主とした化成品事業につきましては、医薬中間体、トルエン・キシレン系化学品である農薬原料、樹脂原料等の増加により、当事業の売上高は58億9千7百万円（前年同四半期比25.8%増）となりましたが、セグメント利益は為替変動の影響を受け3億8千6百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産の残高は売上増に伴う売掛金等の増加を主因として301億7千5百万円となりました。

固定資産の残高は、微増となる230億4千2百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて22億8千8百万円増の532億1千7百万円となりました。

#### (負債)

流動負債の残高は、短期借入金の増加等により80億2千1百万円となりました。

固定負債の残高は、長期借入金、繰延税金負債の増加により37億3千1百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて3億2千万円増の117億5千2百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は利益剰余金の増加を主因として前連結会計年度末に比べて19億6千7百万円増の414億6千4百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して7億7千1百万円増加し、68億4千9百万円となりました。

#### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加による資金の減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益を主な要因として3億6千2百万円の収入（前年同四半期は10億5千4百万円の支出）となりました。

#### <投資活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出を主な要因として、4億2千8百万円の支出（前年同四半期は8億1千1百万円の支出）となりました。

#### <財務活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加

を主な要因として、8億3千4百万円の収入（前年同四半期は2億5千8百万円の支出）となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、平成25年12月12日に公表しましたが、第2四半期（連結・個別）累計期間の予想値との差異が生じたため、平成26年6月9日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示いたしましたのでご参照ください。なお、通期の予想につきましては、変更はありませんが、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### （4）追加情報

#### （「従業員持株会信託型ESOP」における会計処理）

当社は平成26年3月12日開催の取締役会決議により、中長期的な企業価値の向上を目的として、従業員インセンティブ・プラン「従業員持株会信託型ESOP」（以下「本制度」と言います。）の導入を行いました。

本制度は「イハラケミカル工業グループ従業員持株会」（以下「持株会」と言います。）に加入する当社グループ社員のうち、一定の要件を充足する者を受益者とする信託（以下「持株会信託」と言います。）を設定し、持株会が今後5年間にわたり取得すると見込まれる数の当社株式を、借入により調達した資金で一括して取得いたします。なお当社は、持株会信託の当該借入に対し補償を行います。

本制度導入後持株会による当社株式の取得は、持株会信託より行います。持株会による当

社株式の取得を通じ、持株会信託に売却益相当額が累積した場合には、これを残余財産として受益者要件を充足する当社グループ社員に対して分配します。一方、当社株価の下落により持株会信託が借入債務を完済できなかった場合には、当社が借入先銀行に対して残存債務を弁済します。その際、持株会に加入する当社グループ社員がその負担を負うことはありません。

当第2四半期連結会計期間より「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 実務対応報告第30号(平成25年12月25日公表))を早期適用し、総額法を適用しております。

(法定実効税率の変更)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これに伴い繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に仕様する法定実効税率は、平成26年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については、従来の37.2%から34.8%となります。この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,443	7,155
受取手形及び売掛金	8,616	9,778
有価証券	496	495
商品及び製品	6,215	6,528
仕掛品	2,082	1,885
原材料及び貯蔵品	2,536	2,750
繰延税金資産	590	585
その他	943	995
貸倒引当金	△1	—
流動資産合計	27,924	30,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,278	11,358
機械装置及び運搬具	31,432	31,454
土地	3,708	3,708
その他	2,375	2,775
減価償却累計額	△38,982	△39,562
有形固定資産合計	9,812	9,735
無形固定資産		
投資その他の資産	98	98
投資有価証券	12,065	12,145
繰延税金資産	285	288
その他	750	782
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	13,093	13,207
固定資産合計	23,004	23,042
資産合計	50,928	53,217
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,548	3,474
短期借入金	400	1,200
1年内返済予定の長期借入金	—	18
未払法人税等	458	816
賞与引当金	467	370
その他	3,063	2,141
流動負債合計	7,938	8,021
固定負債		
長期借入金	—	101



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
退職給付引当金	1,381	1,394
役員退職慰労引当金	440	474
繰延税金負債	1,583	1,678
その他	87	82
固定負債合計	3,493	3,731
負債合計	11,431	11,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,764	2,764
資本剰余金	5,148	5,375
利益剰余金	26,167	27,544
自己株式	△1,701	△1,709
株主資本合計	32,378	33,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,763	3,934
為替換算調整勘定	△19	95
その他の包括利益累計額合計	3,744	4,030
少数株主持分	3,373	3,458
純資産合計	39,496	41,464
負債純資産合計	50,928	53,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
売上高	14,592	18,373
売上原価	11,097	13,963
売上総利益	3,495	4,409
販売費及び一般管理費	2,022	2,241
営業利益	1,472	2,168
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	86	100
受取賃貸料	18	17
持分法による投資利益	141	221
為替差益	331	5
その他	19	13
営業外収益合計	602	362
営業外費用		
支払利息	3	9
その他	5	0
営業外費用合計	8	9
経常利益	2,066	2,521
特別利益		
固定資産売却益	3	—
投資有価証券売却益	—	2
受取保険金	—	23
その他	0	—
特別利益合計	4	25
特別損失		
固定資産除却損	23	3
賃借物件原状回復費用	—	6
特別損失合計	23	10
税金等調整前四半期純利益	2,047	2,537
法人税等	631	816
少数株主損益調整前四半期純利益	1,416	1,720
少数株主利益	118	117
四半期純利益	1,297	1,602

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,416	1,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,920	168
持分法適用会社に対する持分相当額	145	115
その他の包括利益合計	2,065	283
四半期包括利益	3,481	2,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,359	1,888
少数株主に係る四半期包括利益	122	115

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,047	2,537
減価償却費	662	654
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△106	12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△36	33
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△101	△97
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△1
受取利息及び受取配当金	△91	△103
支払利息	3	9
持分法による投資損益 (△は益)	△141	△221
売上債権の増減額 (△は増加)	△475	△1,161
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,530	△329
仕入債務の増減額 (△は減少)	△249	△74
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△8	△2
その他	△531	△561
小計	△557	693
利息及び配当金の受取額	112	107
利息の支払額	△3	△9
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△605	△429
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,054	362
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	59
有形固定資産の取得による支出	△818	△1,027
有形固定資産の売却による収入	11	—
投資有価証券の取得による支出	—	△247
投資有価証券の売却による収入	—	804
無形固定資産の取得による支出	△5	△18
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△811	△428
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	800
長期借入による収入	—	120
自己株式の売却による収入	0	301
自己株式の取得による支出	△2	△123
配当金の支払額	△223	△224
少数株主への配当金の支払額	△30	△30
その他	△2	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258	834
現金及び現金同等物に係る換算差額	198	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,925	771

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
現金及び現金同等物の期首残高	7,781	6,077
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	118	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,974	6,849

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬事業	化成品事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	9,296	4,688	13,984	607	14,592	—	14,592
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	16	16	304	320	△320	—
計	9,296	4,704	14,000	911	14,912	△320	14,592
セグメント利益	1,413	422	1,836	52	1,888	△415	1,472

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファフィア酵母等の飼料用添加剤、工業薬品類等の製造、販売を行っております。  
 2. セグメント利益調整額△415百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬事業	化成品事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	11,765	5,897	17,663	709	18,373	—	18,373
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	15	15	350	365	△365	—
計	11,765	5,912	17,678	1,060	18,739	△365	18,373
セグメント利益	2,177	386	2,563	25	2,589	△421	2,168

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファフィア酵母等の飼料用添加剤、工業薬品類等の製造、販売等を行っております。  
 2. セグメント利益調整額△421百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。